

ラグビーワールドカップ 大会を通じた市の取組の成果は

まちの「未来につなげる」ことができたことなどがある

「つなげる」ことができたこと、子どもたちを初め、市民と一生の思い出に残る感動を共有し、まちの「未来につなげる」ことができたことなどが成果と捉えている。

議員 大会を通じ、市のレガシーはどのように創出されたと考えているか

政策総務部長 ラグビーのまち府中としての市の知名度向上に資することができたほか、市内関係団体や中学生等が協働し、

清水勝 議員(市友) ラグビーワールドカップ2019が閉幕したが、大会を通じた市の取組の成果を聞きたい。

市長 市民ボランティア等のおもてなしなどにより、「地域でつなげる」とや本市を訪れた方との交流を通じて、「世界



▲東芝ブレイブルーパス&サントリーサンゴリアス 日本代表選手報告会

一括質問 **連続立体交差事業の実現に向けて**

ロードマップを作成する考えは

時機を捉えてロードマップを作成していききたい

市川一徳 議員(市政) 本市における京王線連続立体交差事業は、府中駅の前後を高架化したことで終了した訳ではなく、引き続き同事業を推進することが必要と思う。そこで、同事業について、都の考え方を聞きたい。

市長 都は、府中駅から武蔵野台駅までの区間について、鉄道立体化以外の対策の検討対象区間として位置付けているが、周辺環境の変化が生じた

場合等には、立体化を検討することがあり得るとの見解を示している。

議員 同区間の事業認可を受けた場合、長期的な期間が見込まれると聞くが、連続立体交差事業の実現に向けてロードマップを作成する考えは。

都市整備部長 今後本市の区間が連続立体交差化の検討対象になるよう要望に努めるとともに、時機を捉えてロードマップを作成していききたい。

国内外から訪れた多くの観光客・選手等へのおもてなしを行い、新たな人とのつながりが生まれたものと考えている。

一括質問 **介護・障害福祉サービス事業所等と災害時協定を締結する考えは**

事業者からの意見等も伺いながら検討していききたいと考えている

村崎啓二 議員(市友) 令和元年10月に発生した台風19号において、本市で初めて大規模な避難勧告が出され、避難行動要支援者への対応等の課題が明らかになった。そのような中、避難行動要支援者避難支援プランの作成について、市の考えは。

行政管理部長 要支援者避難支援プランの全体計画については、先進事例を参考に、関係部署とも連携し、作成に向けて検討していき。

議員 避難行動要支援者には、身体的・精神的状況に配慮した安否確認等が必要な場合が多くあり、専門的知識を持つ事業者の応援が必要と思うが、介護・障害福祉サービス事業所等と災害時協定を締結する考えは。

福祉保健部長 他市の取組事例を調査するとともに、事業者からの意見等も伺いながら、検討していききたいと考えている。

一括質問 **食品ロス削減に向けた推進計画を策定する予定は**

国や都、近隣自治体の動きを注視し、計画の策定について調査・研究していききたい

そなえ 邦彦 議員(自由) 令和元年10月に食品ロスの削減の推進に関する法律が施行された。そのような中、食品ロスについて、市はどのような対策をとっているのか。

生活環境部長 市内の飲食店で食べ残しをなくす取組を実施している店舗を本市のホームページ等で紹介する食べきり協力店制度のほか、食品ロスをテーマにした講演会や映画の上映など多岐にわたる事業を推進している。

議員 同法律が施行されたことを受けて、市として、食品ロス削減に向けた推進計画を策定する予定は。

一括質問 **むさし府中商工会議所との連携によるキャッシュレス決済の拡充**



▲食べきり協力店

具体的な取組内容は

決済に必要な端末導入費用等が無料になるなどである

渡辺将 議員(都民) マイキープラットフォームの構想とはどのようなものか聞きたい。

行政管理部長 マイナンパーカードのマイキーと呼ばれる部分を活用し、行政の効率化等につながる具体的な道筋を明らかにした構想である。具体的には、航空マイレージ等から、自治体の商店などで使うことが可能な自治体ポイントへの変換等が掲げられている。

議員 市は、令和元年度からむさし府中商工会議所と連携し、キャッシュレス決済の行える店舗の拡充を進めていると聞くが、具体的な取組内容は。

生活環境部長 キャッシュレス決済拡充事業については、同会議所の会員が申請することで、決済に必要な端末導入費用等が無料になるなどである。

●災害時の情報発信について●オリンピック・パラリンピックについて

一問一答 **他自治体の取組を参考に多胎児世帯への経済的な支援を行う考えは**

国や都の新たな補助制度の動向等を注視していききたい

国や都の新たな補助制度の動向等を注視していききたい。

子ども家庭部長 課題としては、多胎児の妊娠などにおいて、身体的な負担や経済的な不安を抱える家庭が少なくないと認識しているため、多胎児家庭の要望等を把握し、必要に応じて支援の拡充を図ることと捉えている。

議員 多胎児世帯へのおむつの補助やタクシーなどの移動支援を行う他自治体の取組を参考に、経済的な支援を行う考えは。

子ども家庭部長 単胎児の家庭よりも経済的な負担が大きくなると認識し

一問一答 **わがまち支えあい協議会等の団体と連携する考えはあるか**

多様な団体と連携、協働する取組を推進していききたい

高津みどり 議員(公明) 障害福祉サービス利用者には、65歳になると介護保険サービスを優先して利用することになり、サービス内容が変更してしまう等の課題があるが、障がい者の65歳問題について、本市の取組は。

福祉保健部長 原則として介護保険サービスを受けることになるが、本市では個々の状況を把握し、必要と認められる場合には、適切な障害福祉サービスの給付に努めている。

議員 障がいのある方も多



▲ふらっとサロンでの講話(わがまち支えあい協議会)

が充実した地域の支え合いの中で生活することが望ましいと思うが、わがまち支えあい協議会等の団体と連携する考えはあるか。

福祉保健部長 多様な団体と連携、協働する取組を推進していききたい。

高年齢者肺炎球菌ワクチン接種率のさらなる向上について

一括質問 **建設キャリアアップシステムを市の総合評価方式に加える考えは**

まずは事業者へ制度内容の周知を図った上で有効な手段を検討していききたい

稲津 憲護 議員(市友) 建設業は技能者の能力が統一的に評価されにくく、能力等が処遇に反映されにくい環境にあると思う。国は、優秀な担い手を確保していく必要があるとして、技能者の就業履歴や保有資格等を業界統一のルールで蓄積する建設キャリアアップシステムの構築を進めている。

そこで、同システムの意義について、市の見解は。

行政管理部長 技能者が適正な評価や処遇を受けられる環境整備の一つとして、担い手の確保につながるものと考えている。

議員 同システムを積極的に活用し、普及促進していくことを要望したいが、市の総合評価方式に加える考えは。

行政管理部長 現在、周辺環境の整備を進めている状況にあり、まずは事業者へ制度内容の周知を図った上で、有効な手段を検討していききたい。

ているため、国や都の新たな補助制度の動向等を注視していききたい。

●緊急医療救護所間の連携強化のために